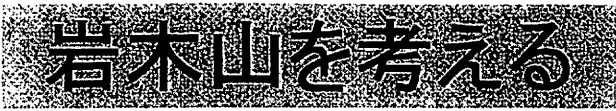


会報 第53号	Mt. Iwaki Conservation Association 	2011年3月10日 発行 岩木山を考える会 会長 阿部 東
------------	---	--------------------------------------

三浦章男事務局長 急逝 (2010年11月29日)

- 7月18日 「赤倉登山道」の刈り払いをした時、左足が踏みつけた竹を滑り台に下方に滑って股裂き状態になって、右腹部と右側胸部に鋭い痛みを覚えた。
- 8月30日 赤倉登山道下山中、岩角に足を取られて前のめりに転倒した。転んだ胸の部分に岩角が当たり、岩角にぶつかったカメラが右の胸にぶつかった。この転倒は7月18日の治りかけた負傷を前に戻していた。
- 9月7日 自転車で青樹町まで行った。道を間違えて方向転換した瞬間、ハンドルが内側に巻き込まれ倒れる時に頭を打つのを避けるため、両手を突っ張ろうとして傷を広げた。パソコンのキーボードを打つこともままならないほどの痛みが10日以上続き、腫れが広がり大きくなった。

(2010. 9. 11事務局長ブログより)

痛い箇所: 右腰骨上部→右腎臓癌が正体だったのである。

この状況の中で9月10日岩木山のアオモリドマツの現状調査に行ったのだ。ドマツの向かい側に腰を落とし、写真を撮り終わってから「腰痛がひどくて動くのは大変だんだ」と言っていたことを思い出す。このときはまだ癌はわかっていなかった。10月5日の幹事会では、腰痛の原因は肋骨の骨折によると話している。

思えば三上正光事務局長が肺癌で急逝され、三浦氏があとを継がれ9年目に当たる。その間、全力を注いで岩木山の自然保護のために尽くされた。しかし、弥生スキー場跡地の問題、長平スキー場の今後の推移、風力発電所やゴミの問題、岩木山を取り巻く困難な問題が山積みされている。

三浦章男氏こそ沢山のやりたい仕事を残して逝かれたのですが、残された私共にしても誠に惜しい方をなくし残念で悔しい思いである。

会員のよりいっそうの団結により、これからもこれらの難問に取り組んでいきたいものである。

(会長 阿部 東)

2011年度「岩木山を考える会」総会のご案内

2011年度の総会を下記のように行います。できるだけ多くの会員の参加をお願いします。

日時: 4月2日(土) 午後1時30分より
 場所: 弘前市民参画センター(桜大通り)

議 案

1. 経過報告

- 5月 2日 第44回春の観察会 … ウォッチング青森と共催(石切沢と堰堤)
- 5月23日 岩木山講座(NHK) 後長根沢
- 5月25日 弥生ネットと共催 … 弥生跡地の調査
- 6月 1日 岩木山春の表情の異変について … 東奥日報夕刊
- 6月13日 弥生ネットと共催 … 弥生跡地の調査
- 6月27日 岩木山講座(ブナ巨木の森-岳登山道, 岳温泉)
- 7月18日 長平・赤倉登山道刈り払い(竹谷, 工藤, 斉藤, 三浦)
- 7月30日 弘前新市長と懇談
- 8月 1日 岩木山講座(赤倉社屋と赤倉堰堤)
- 8月29日 岩木山講座(毒蛇沢右岸尾根ブナ林)
- 9月10日 アオモリドマツの調査(三浦, 斉藤, 阿部)
- 9月19日 弥生跡地報告書の市民への説明会
- 9月22日 岩木山講座(毒蛇沢右岸から石切沢, 会長より講座打ち切りのお知らせ)
- 10月30日 東北自然保護の集い(～31日)(竹浪, 斉藤)
- 10月22日 コマクサ抜き取り(県自然保護課案内)
- 11月22日 弥生跡地市役所と一緒に見回り
- 11月27日 枯木平と岳の境のゴミ拾い(岩木観光協会)
- 11月28日 弥生跡地毎木調査(弥生ネット)
- 11月29日 三浦事務局長御逝去
- 12月 3日 弥生跡地利用船沢地区住民との懇談会
- 1月14日 岩木山写真展

幹事会は1月1回, 第1火曜日に行なった。



今年の岩木山は湿った雪の影響で枝折れが目立ちました

2. 反省と総括

(1) 岩木山の自然破壊の監視, 阻止, 岩木山の自然保護

- 1) コマクサ抜き取りについて- 2010年度県自然保護課とコマクサ抜き取りに参加した。時期が遅く, 地上部が枯れて土を掘って確認した。抜き取りをしたが, もっと早い時期に行う必要があると確認した。
- 2) 堰堤調査- 特に山岳三角州に設置されている堰堤, 平沢, 毒蛇沢の調査を行った。本会ではこれまで赤倉沢の15基の治山ダムを調べ, その施工目的とは違っている可能性を指摘したが, 同様に多くの問題を覆い隠している可能性が大きい。
- 3) 長平湿地の調査- 今年度は調査できなかった。

(2) 自然保護行政, ボランティア活動への協力

- 1) 弥生ネットを通じての弥生跡地の市民活動への参加

弥生跡地の観察会, 市民参加型2回, 弥生ネットと市役所での見回り, 毎木調査を行い配水管の発見. 毎木調査では一番成長しているのは土地造成が少なかったところに生えているコバノハンノキ(幹回り平均162.5mm), 次がカワヤナギ(幹回り平均637.0mm)などであり, 土地造成(表土を剥いでセメントまたは石を敷いたところ)の厳しいところでは荒原(30%以上植生のないところ)やコケ, 一年生植物しか生えていないところもあった.

2) 弥生跡地の利活用報告書

市民報告会(9月19日), 船沢地区との懇談(12月3日), 弘前市長との懇談(7月30日)に参加した. 報告書の提言に従って今後も運動を続けることになるが, 地元市民との対話(問題点への理解度に隔たりがある)は欠かせない.

3) 岩木山観光協会との共同作業

登山道刈り払いに参加, ゴミ拾いへの参加, ものしりマップ編集への参加(校正ミスがあり次回2000部).

4) 関係団体との協力・連携

岩木山観光協会, 岩木山神社, 岩木山パトロール, 岩木山観光物産課, 森林管理局, 岩木山スカイラインと連絡をとりあい, アオモリドマツの保護を訴えた. また, 登山道の刈り払いに協力した.

5) 高体連インターハイ(2011年8月9日~13日まで)の参加案内へ岩木山と八甲田山の動物の紹介.

6) 白神山地, 奥入瀬溪流自然観察歩道の枯れ木伐採への申入書の提出

ウォッチング青森, 青森の自然環境を考える会, 赤石川を守る会, 日本野鳥の会と共同

(3)シンポジウムは開けなかった

(4)NHK 文化センター講座

5~9月まで行った. 会員や一般市民のための無料の講座を作りたいので, 9月22日に, NHK 文化センターでの講座打ち切りのお知らせをした.

(5)観察会

観察会では会員の参加が少ないことで, 弥生ネット, ウォッチング青森と共催したが, やはり会員の多数の参加を得るにはどうすればよいかについて対策を考える必要がある.

(6)会報は1回だけしか出せなかった.

(7)写真展

入場者は減(約400名). 写真の出展数は増加(90点).

<これらの活動を通して>

昨年の総会の中で, 会員から指摘されたことは次の点であった.

活動の質的な面は高いが, 幹事会を通し会員全員に働きかけることができていない

“会員の顔が見えない”

活動が一部幹事によって行われ, 会の動きが会員に伝わっていない.

今期は, 幹事会を毎月定例化するなど充実を図った. また, 幹事間で役割分担をし, 会員とともに行う講座などを考えた. その中で会員の参加が見られ, 会員は減少したものの, 減少に歯止めがかかった.

3. 方針

- (1) 観察会を岩木山講座とし、自然観察の他に座学も入れ、岩木山に関する総合的な観点を育てる。
- (2) 第19回写真展を2月10日～12日とし、市民参加型と位置づけて開催する。
- (3) シンポジウムを岩木山湧水の生物学とし、東信行先生を講師として10月後半あたりに行く。
- (4) 東北自然保護の集いに参加する。(旅費等の補助はなし)
- (5) 地球温暖化防止、生物多様性の保護を目標にできる限り市民と共同の活動を探っていききたい。
- (6) ホームページ「岩木山を考える会」を継続する。
- (7) 幹事会(毎月1回第1火曜日午後7時参画センター)を充実し、会員との連携を高め会員数の穏やかな増加を目指す。会員はどの幹事会でも自由に参加できるものとする。

【 23年度活動日程(案) 】

1. 岩木山講座

- 5月 5日(木) 石切沢堰堤観察会・調査 (午前10時, 百沢スキー場駐車場に集合)
- 6月12日(日) 弥生スキー場跡地の生物調査(弥生ネット)(午前10時, 駐車場に集合)
- 7月24日(日) 観察会「岩木山山頂付近の高山植物」
- 10月23日(日) 赤倉, 大石, 巖鬼山神社, 鬼神社など神社巡り
- 10月29日(土) 講座「岩木山の湧水と生物多様性」東 信行先生
シンポジウム企画予定
- 12月 講座「岩木山のクジラ化石」佐藤 巧先生(予定)
- 1月または3月 講座「岩木山と信仰」小山 隆秀先生(予定)

2. 調査活動

- 6月 長平湿原調査(日程未定)

3. 幹事会

- 毎月, 第1火曜日午後7時で定例化
- 第1回 4月5日(火)午後7:00～ 市民参画センター(桜大通り)

4. 写真展

- 平成24年(2012年) 2月10日(金)～12日(日)に市民参加型と位置づけて実施

<体制>

- 会長 阿部 東
- 副会長 武尾 照子
- 幹事 飛鳥 和弘, 工藤 龍雄, 竹谷 清光, 佐藤 竹郎, 土岐 修平, 小堀 英憲
斎藤 真人, 小倉 慎吾, 藤原裕貴子(新), 花田 一男(新), 三上 範子(新)
- 事務局長 竹浪 純(新) (事務局) 葛西 拓美, 三浦 章子(新)

【連絡先】 0172(36)4205 (阿部)
080(5229)6076 (竹浪)



熊の爪痕